令和4年度 うない奨励賞表彰式次第

日時:令和5年2月9日(木) 10:00~10:30

場所:第二会議室

参加者:井上委員長、喜納委員、金城委員、宮城委員、宜野座委員、背戸委員

(Teams 参加) 深谷委員、小橋川職員課長代理、末吉職員係員

(写真撮影・ジェンダー協働推進室 安里さん、西平さん)

表彰者:【グランプリ】目録・5万円

古川 真央

(ふるかわ まお/理工学研究科・海洋環境学・博士1年)

【準グランプリ】目録・3万円

MULLER, YUKIKO KISINO

(むらー ゆきこ きしの/理工学研究科・総合知能工学・博士3年)

(進行表)

表彰式	井上委員長から賞状授与・目録贈呈	
$(10:00\sim10:04)$		
祝辞	井上委員長から祝辞をいただく。	
$(10:04\sim10:05)$		
受賞者の言葉	古川さん、MULLER さんから、うない奨励賞受賞の感想、今後の	
(各人5分程度)	研究活動予定、将来の抱負等スピーチをしていただく。	
$(10:05\sim10:15)$		
委員との懇談会	井上委員長から委員紹介後、受賞者との懇談	
$(10:15\sim10:25)$	・各委員から、お二人へ研究についての質問や、今後の抱負を	
	聞くなど、自由に懇談いただく。	
閉式の挨拶	喜納委員から挨拶していただく。	
$(10:25\sim10:26)$		
集合写真撮影	表彰者、委員で集合写真撮影(琉大ロゴ背景に集合)	
$(10:26\sim10:30)$		
(10:20 10:00)		

令和4年度 うない奨励賞 表彰式開催メモ

日 時:令和5年2月9日(木)10:00~11:00

場 所:第二会議室(Teams とのハイブリッド開催)

出 席:【表彰者】グランプリ:古川真央(理工学研究科・海洋環境学・博士1年)

準グランプリ: MULLER YUKIKO KISINO (理工学研究科・総合知能工学・博士3年)

【うない奨励賞選考委員会】井上委員長、喜納委員、金城委員、宮城委員、宜野座委員、

背戸委員、(Teams 参加) 深谷委員

陪 席:【職員課】小橋川代理、末吉係員、【ジェンダー協働推進室】安里事務補佐員、西平事務補佐員

1. 表彰式(10:00~10:03)

井上委員長より、受賞者の古川真央さん(グランプリ)、MULLER YUKIKO KISINO さん(準グランプリ)に対し、賞状授与及び目録贈呈を行った。

2. 祝辞(10:03~10:06)

井上委員長から、受賞者に対し下記の旨の祝辞を行った。

・令和3年度より開設したうない奨励賞は今回2回目の表彰式となる。昨年に引き続き多数の応募があり、選考を通して多数の女性研究者の芽が育ってきていることを実感している。厳しいコンペティションを勝ち抜き本賞を受賞したことを是非誇りに思ってもらいたい。今後、より一層研究活動に邁進し、女性研究者のロールモデルとして将来活躍されることを期待している。

3. 受賞者の言葉(10:06~10:)

受賞者の古川さん、MULLER さんから、うない奨励賞受賞の感想、今後の研究活動予定、将来の 抱負等スピーチをしていただいた。

【グランプリ・古川真央さん】(10:06~10:11)

・受賞できたことを大変光栄に思う。表彰は個人の力だけではなく指導教員や先輩のおかげだ。今後も2次審査でプレゼンテーションした、ミドリイシ属サンゴの生殖と種分化に関する研究活動にさらに励んでいき、将来は自分のラボを持ち、研究を通して何かに夢中になれる素晴らしさを未来の学生に伝えていきたい。

【準グランプリ・MULLER YUKIKO KISINO さん】(10:11~10:13)

・このような素晴らしい賞をいただけて光栄に思う。現在取り組んでいるプロジェクトは、国内のドローンチームをはじめ、様々な企業・団体と連携して進めていて、今後研究で得られる知見を 出身国(マーシャル諸島)にも還元していきたいと思っている。今回の受賞に心より感謝申し上 げたい。

4. 委員との懇談会(10:13~10:47)

審査員と受賞者を交えたざっくばらんな懇談を行い、受賞者からの博士課程で研究する上での困難を

どのように乗り越えたかという問いに対し、各委員から自身の学生時代の体験談を共有しアドバイスを 行う等、有意義な意見交流が行われた。

5. 閉式の挨拶(10:47~10:50)

喜納委員から、閉会の挨拶として、下記のコメントがあった。

・素晴らしい方が、うない奨励賞グランプリ・準ブランプリに選ばれたことを嬉しく思っている。今後、自身の所属している研究室だけでなく地域、世界で自分にしかできない仕事を持ち、唯一無二の存在になってほしい。いろんな葛藤がある中で後進のためにキャリアを全うしている女性研究者は多数いるので、それを参考にしていただきながら、お二人の今後の更なる活躍を期待している。

6.集合写真撮影(10:50~11:00)

表彰者および各委員で琉大ロゴを背景に集合写真撮影を行った。























令和4年度 琉球大学女子学生学術研究等活動うない奨励賞 募集要項

1 目的

琉球大学(以下「本学」という。)では、本学に在籍する女子学生^注に対し、その意欲的な研究活動や社会貢献等の活動を奨励し、継続的に研究に取り組む動機付けにしてもらうために、琉球大学女子学生学術研究等活動うない奨励賞を授与する。本賞を通じて将来の学術研究を担う優秀な若手女性研究者および未来社会を牽引する女性リーダーの育成に繋げ、男女共同参画及びダイバーシティーの推進等に資することを目的とする。

注:本賞においては、応募者が自認する性を以て「女子学生」と定義する。

2 応募資格

- ・応募時点において、本学に在籍する女子学生であること。 (過去に本賞を授与されたものは除く)
- ・すでに発表された論文や著書等の業績または地域及び国際社会への貢献等、 他の学生の模範となる顕著な実績のある者であること。

3 選考

応募者の研究その他の活動における主要業績や、研究や社会貢献等の活動の重要性、当該活動に対する今後の意欲・見通し等について、学内に設置する選考委員会において厳正かつ公正な審査を行い、受賞者を決定する。

4 表彰

- (1) グランプリ 1名 賞状と副賞(5万円)を授与する。
- (1) グランプリ 1名 賞状と副賞(3万円)を授与する。 ただし、グランプリ及び準グランプリは、該当者なしとすることがある。

5 応募書類

応募者は、以下の書類をデータで提出する。また、提出書類についてはサイズをA4サイズに統一するものとする。

- (1) 応募用紙(様式1)
- (2) 指導教員等の推薦書(様式2)
- (3) 研究や社会貢献等の取組の顕著さを示す印刷物や成果物の一部(コピー可) 1部 ※提出物の具体例については「様式1」の主要業績欄の記述を参照されたい。
- (4) その他、必要と思われる参考資料

6 提出方法

応募者は、応募書類を職員課職員係にメール添付し提出する。

7 提出期間

令和4年10月24日から11月30日まで

8 選考方法

第1次審査(書面審査)と、プレゼンテーション等の方法で評価する第2次審査(面接審査)による総合的な評価に基づいて受賞者を決定し、選考結果を応募者に通知する。なお、第1次審査は令和4年12月上旬、第2次審査は令和5年1月中旬に実施する。

9 選考結果の通知と公開

第1次審査の選考結果は、令和4年12月中にすべての応募者に通知する。第2次審査の選考結果は、令和5年1月中に第2次審査の対象者に通知する。選考結果は、ジェンダー協働推進室ウェブサイト及び表彰式を通じて公開する。

10 表彰式

令和5年2月に表彰式を行い、受賞者に賞状及び副賞を授与する。表彰式において、受賞者は研究活動についての発表等を行う。

11 その他

- (1) 応募書類(応募用紙・推薦書)は、ジェンダー協働推進室ウェブサイトからダウンロードすることができる。
- (2) 提出された申請書等は、原則一切返却しない。応募用紙等に記載されている個人情報は、本賞の選考及び本賞に関わる連絡にのみ利用するものである。
- (3) 様式を変更することは原則としてできない。文字の大きさは、11ポイント以上とし、応募書類は、日本語または英語で作成するものとする。
- (4) 推薦書は、指定の様式(様式2)で作成する。研究活動における顕著な業績を有する応募者の推薦書は、応募時点での指導教員(年次指導教員、研究指導教員等)が作成するものとする。また、社会貢献等の顕著な活動において実績を有する応募者は、学内の指導教員のほか、応募者の活動上の指導者(アドバイザー)等、活動の内容や意義などをよく理解する学外の指導者に作成を依頼することができる。指導教員や指導者が複数いる場合は、そのうち1名が推薦書を作成するものとする。また、応募書類一式はデータで提出する際、データファイルに応募者名(○○)がわかるようにタイトルを付けること。
- (5) 選考基準・結果の内容等については、情報公開等は行わない。
- (6) 受賞者の氏名、略歴及び研究業績等は公表されるので、応募に際し、応募者及 び推薦者は予め承知しておくこと。

1	2	応募書類の提出先・	・本賞に関する問いる	シわみな	Ţ.
1	_		/ 中 目 () 大	すねン ピーノ	L

総務部職員課

第2回

うない奨励賞

募集中

「うない奨励賞」は、研究や社会活動等をがんばる琉大の女子大学生・大学院生の活躍を応援することを目的として、昨年度、琉大に新設された賞です。

応募締切 2022年 11/30



【応募資格】※詳細は募集要項を参照

- ・応募時点において、琉大に在籍する女子学生であること。
- 刊行された論文や著書等または地域及び国際社会への貢献等の実績があること。

注: 本賞は応募者が自認する性をもって「女子学生」とします。

【応募書類】

募集要項および応募書類の様式はQRコードからダウンロードできます。

http://www.gender.ji



\2202-isnu\42\01\g

●問合わせ先

琉球大学総務部職員課職員係

TEL: 098-895-8022

MAIL: jnsyoku@acs.u-ryukyu.ac.jp